

川瀬巴水

かわせ

はすい

旅と郷愁の風景

秋田朝日放送開局30周年記念特別展

2022年4月16日(土) ▶ 7月3日(日)

秋田県立美術館3階ギャラリー

時間 | 午前10時～午後6時 ※入館は午後5時30分まで

前期 | 4月16日(土)～5月24日(火)

後期 | 5月26日(木)～7月3日(日) ※展示替え休館5月25日(水)

主催 ●川瀬巴水展実行委員会
(AAB秋田朝日放送、秋田県、公益財団法人平野政吉美術財団)

特別協力 ●渡邊木版美術画舗

資料提供 ●大田区立郷土博物館

企画協力 ●ステップ・イースト

後援 ●秋田市、秋田市教育委員会、秋田魁新報社、朝日新聞秋田総局、
毎日新聞秋田支局、読売新聞秋田支局、産経新聞秋田支局、
河北新報社、秋田経済新聞、NHK秋田放送局、ABS秋田放送、
AKT秋田テレビ、エフエム秋田、CNA秋田ケーブルテレビ

《芝増上寺》東京二十景 1925(大正14)年 渡邊木版美術画舗蔵



《馬達の月》東京二十景 1930(昭和5)年

川瀬巴水

旅と郷愁の風景

秋田朝日放送開局30周年記念特別展



《田澤湖御座の石》旅みやげ第三集 1926(大正15)年



大田区立郷土博物館蔵

大正から昭和にかけて活躍した木版画家・川瀬巴水(1883-1957)。日本全国を旅し、庶民の生活が息づく四季折々の風景を描いた巴水は、「旅情詩人」「昭和の広重」とも呼ばれ、今日まで多くの人に愛され続けています。巴水の画業に大きな影響を与えた版元の渡邊庄三郎は、伝統的な木版技術の復興と普及を目指しました。そして、海外にも通用する木版「美」の構築を目指す「新版画」を推進します。巴水は、庄三郎とともに意欲的に木版画制作を行い、「新版画」を代表する画家として活躍しました。

本展は、『旅みやげ』や『東京二十景』など、まとめて見る機会の少ないシリーズ(連作)を中心に紹介します。日本の風景を詩情豊かに描いた作品が、観るものに郷愁や安らぎをもたらす巴水版画の世界へと誘います。

スティーブ・ジョブズも魅了した巴水

アップル・コンピュータの共同創業者スティーブ・ジョブズは、日本の新版画を愛し、特に川瀬巴水はお気に入りの作家でした。右の図版はジョブズが購入した中にもあった作品です。



《西伊豆木負》1937(昭和12)年6月



《平泉金色堂》1957(昭和32)年



《日本橋(夜明)》東海道風景選集 1940(昭和15)年



《上野清水堂》東京二十景 1928(昭和3)年

※図版はすべて渡邊木版美術画舗蔵

■ 関連イベント

● 講演会「展覧会監修者による特別講演」

講師：岩切信一郎氏(本展監修者・美術史家)
日時：4月24日(日) 14:00~15:30
会場：1F県民ギャラリー
定員：50名

※参加には観覧券または年間パスポートが必要です

※参加ご希望の方は、事前に電話またはファックスで美術館までお申し込みください

※中止、または変更となる場合がございます。最新情報は美術館ホームページ等をご確認ください

● 学芸員によるギャラリートーク

日時：5月14日(土)、6月18日(土)
各日ともに14:00~14:30
会場：1Fレクチャールーム
定員：20名

観覧料

一般1,000円(800円)、高・大学生800円(600円)

※中学生以下無料 ※高・大学生料金は要学生証提示
※()内は前売、20名以上の団体料金
※身体障がい者・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳(ミライID可)を持参の方と付添1名は半額

プレイガイド

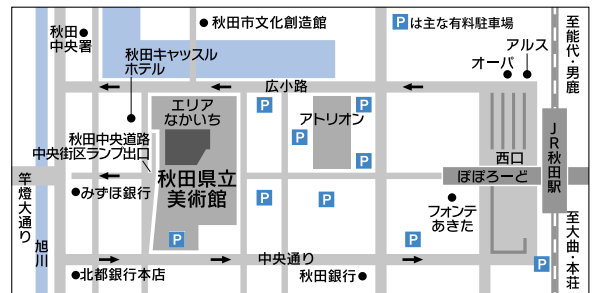
前売券販売所：さきかけニュースカフェ、ローソンチケット(Lコード：22876)、
チケットぴあ(Pコード：685-998)、e+
前売券に関するお問い合わせ：AAB秋田朝日放送 TEL018-888-1505(平日9:00~17:30、土日祝休)

当館では、新型コロナウイルス感染症対策を実施しております。今後の状況に応じて、関連イベント等の予定が変更になる場合がございます。最新情報は、当館ホームページ等でご確認ください。

■ 会場までのアクセス

※美術館専用駐車場はございません。

- JR秋田駅西口からタクシーで2分、徒歩10分
- 秋田自動車道・秋田中央ICより10分(中央街区ランプ出口)



平野政吉コレクション
秋田県立美術館
AKITA MUSEUM OF ART
〒010-0001秋田県秋田市中通一丁目4-2 TEL018-853-8686 FAX018-836-0877